

平成31年度  
公益財団法人 京都市生涯学習振興財団 事業計画

1 財団の概要

項 目	説 明
設立年月日	昭和56年3月16日 平成22年4月1日 公益財団法人へ移行認定
設立の趣旨と目的 (定款3条)	京都のもつ歴史と文化を生かした生涯学習に関する事業を行い、市民の自発的な学習意欲を喚起して生涯学習の振興を図るとともに、京都市域における教育と文化の発展に寄与する。
基本財産	80,000千円
理事会及び評議員会	理事14名 監事2名 評議員13名
職員数	213名 (平成30年4月1日現在)
業務概要	<p><b>【財団が事業実施する施設】</b></p> <p>生涯学習総合センター (京都アスニー, アスニー山科) 2館            図書館 (中央図書館など4中央館と地域館) 18館</p> <p><b>【財団が実施する事業】</b> (詳細後述)</p> <p>生涯学習事業 及び図書館事業            その他の事業 … 駐車場運営, 飲料水の販売等を実施</p>

2 生涯学習総合センター事業

(1) 財団自主事業

事業名等	説 明
アスニーセミナー	<p>歴史・文化から自然科学まで様々なテーマで、より専門的な内容を学んでいただける、幅広い教養講座として開講。</p> <p>平成29年度から教養講座へのご参加いただける範囲を広げるため、夜間の有料講演会「アスニー・ナイトプログラム」を開講。年1回。</p>
アスニーアトリエ (アスニー山科でも実施)	<p>継続的に取り組んでいただく趣味・実技講座として、ヨガ・健康体操・和裁・茶道・シャンソン・箏曲・よし笛・囲碁・書道・油絵・陶芸・フラワーアレンジメント等、多種多様な内容の講座を開講。</p>

事業名等	説明
<p><b>アスニーコーラス</b> (アスニー山科でも実施)</p>	<p>歌う楽しさを味わい音楽に親しむことにより、毎日を健康で潤いあるものとするため、初心者から経験者まで、幅広く参加できるコーラスグループを運営。</p> <p>【グループ名 (形態：活動拠点)】</p> <p>ドリームコーラス (女声・混声合唱団：京都アスニー)</p> <p>コール・ウィズユー (女声合唱団：京都アスニー)</p> <p>ラ・コール・デュ・ボア・ジョリ (女声合唱団：京都アスニー)</p> <p>コーラル・オー・トワ・ラヴィ (混声合唱団：アスニー山科)</p> <p>シャンテ・オー・トワ・ラヴィ (歌唱団：アスニー山科)</p> <p>ひかりとともに (女声合唱団：京都アスニー)</p> <p>コール・アスニー (混声合唱団：アスニー山科)</p>
<p><b>アスニーコンサート</b></p>	<p>気軽に音楽を楽しむことのできる機会として、京都市交響楽団員をはじめとする一流の音楽家による「アスニーコンサート」を開講。</p> <p>平成29年度10周年を迎えた。</p> <p>事業の実施にあたっては、趣旨に賛同いただける京都の企業・団体から協賛金を募り運営費に充当。</p> <p>学校教育においても活用いただけるよう、部活動等で音楽活動に励んでいる児童・生徒を対象とした学校団体鑑賞の割引制度も設置。</p>
<p><b>京都通の文化誌 「創造する市民」 の発行</b></p>	<p>市民の生涯学習のきっかけとなるよう、千玄室所長による対談をはじめアスニーで特に人気の高かった講座の講演録や京都でご活躍の先生方の執筆による寄稿などを掲載。</p>
<p><b>京都アスニー文化祭 ～学びとふれあいの 広場～ の実施</b></p>	<p>開館30周年記念事業として実施し、来館者や参加団体に大変好評であったため、以後、学びの輪やすそ野を広げる事業として、毎年3月に開催。</p>
<p><b>アスニー山科文化祭 の実施</b></p>	<p>施設利用者を中心に、作品展示・学習成果の発表や体験、また、財団事業講師の作品も一堂に展示し、学びの楽しさを発信すると同時に、交流の場として毎年10月に開催。</p>
<p><b>アスニー山科 ギャラリー掲示板</b></p>	<p>学校連携事業の一環として、近隣の小中学校の児童・生徒の作品を展示し、あまり利用のなかった子供や保護者などの年齢層の来館を促す。</p> <p>また、日頃アスニー山科で活動されている方々の作品展示などでサークル団体などの活性化を目指す。</p>

(2) 受託事業（京都市からの委託を受けて実施）

事業名等	説明
<p><b>古典の祭典2019の開催</b></p>	<p>古典の祭典は、平成20年11月1日の源氏物語千年紀記念式典における「古典の日」宣言の趣旨を踏まえ、古典の日を中心に、記念講演・伝統芸能の公演・コンサート等を毎年実施。</p> <p>※ 平成24年8月に、11月1日を「古典の日」として法制化。</p> <p>平成30年度は、「古典のなかの京都 貴族の時代から武士の時代へ」と題して、京都市歴史資料館館長 井上満郎氏 と 京都大学大学院人間・環境学研究科教授 元木泰雄氏による講演及び対談を実施。</p>
<p><b>京都市平安京創生館における展示事業</b></p>	<p>平成20年の「古典の日」宣言を契機とし、平安京を間近に体感し、学習いただける京都市唯一の施設として、平成21年11月1日にリニューアルオープン。</p> <p>平安京の町並みや当時の建造物の復元模型の常設展示のほか、<b>平安貴族装束の着付け</b>が体験できるコーナーを設置。</p> <p>平成28年度に開館10周年を迎え、平成29年度には、延べ入館者数50万人達成。増加する訪日外国人に対応するため、常設展示の解説の英語版の案内板を設置。また、「平安京オーバーレイマップ」の地図を京都盆地にまで広げた「古代の京都～ヤマシロオーバーレイマップ～」も館内で体験可能となった。</p> <p>さらに、建都1200年記念事業の一環として制作された「甦る平安京（平安京の復元）」の完全復活を実現し、平成30年3月22日に再度リニューアルオープンを果たした。</p>

事業名等	説明
<p>ゴールデン・エイジ・アカデミー</p>	<p>京都が誇る歴史・文化・文学・伝統芸能等をはじめ、防災・健康・環境など様々なテーマについて、関係機関とも連携しながら各分野の専門家を講師とする講座を通して、市民一人ひとりが自ら学び教養を高める中で、人生をより深く豊かなものとしていくことを目的として開講。</p> <p>平成30年度は、「明治維新150年」記念関連講座や29年度から続く「シリーズ双京構想」関連講座などを京都市各局と連携して実施。</p> <p>また、「京都・パリ友情盟約締結60周年」記念関連講座なども実施。</p> <p>平成31年度は、日本で初めて開催となる「<sup>あいこむ</sup> ICOM (世界博物館会議) 京都大会2019」の関連講座を京都国立博物館はじめ関係機関の協力を得て実施予定。</p> <p>また、「祇園祭創始1150年」記念関連講座や平安京創生館における展示事業「平安京復元模型」の製作25周年関連講座など、京都市各局や大学・公共機関等と引き続き連携して実施予定。</p> <p>アスニー山科にも同時中継。</p> <p>(定員680名：京都アスニー600名、アスニー山科80名)。</p>
<p>アスニー京都学講座</p>	<p>京都市内の歴史や文化関係施設等と連携を図り、それぞれの施設の研究者が日頃の研究成果を発表し、市民の学びにつなげる場として、土曜日に受講料無料の講座を開講。</p>
<p>学びのフォーラム 山科</p>	<p>市民の方々の学びたい、知りたいと思う気持ちを大切に、文化、歴史、時事問題、健康など幅広い内容の講演を中心に開講。</p> <p>年に1度、コンサート形式の歌唱指導特別回を実施。(定員260名)</p>
<p>視聴覚センター事業</p>	<p>市内の学校や社会教育団体を対象に、無料で、DVD教材、16ミリフィルム、ビデオテープ及び映写機材の貸出を実施。</p>
<p>アスニーこどもコンサート ・キッズシネマ</p>	<p>視聴覚フィルムライブラリーに所蔵する子ども向け映画やアニメ作品の上映会を実施。あわせて今年度からは、学校で音楽活動を頑張っている子どもたちの励みとなるよう、年間を通してこどもコンサートを実施。入場無料。月1回、土曜日に実施。</p>
<p>アスニーシネマ (アスニー山科でも実施)</p>	<p>視聴覚センターが保有するDVD等、433タイトルの懐かしの映画の中から参加者からのリクエスト(アンケート調査)を取り入れて上映。入場無料。月1回、土曜日実施。</p> <p>※「アスニー シネマスペシャル」年1回、土日実施。</p> <p>(アスニー山科では、平成30年度より、隔月1回の開催を毎月1回、火曜日に実施。)</p>

事業名等	説明
バリアフリー映画会	「障害者差別解消法」の施行を機に、京都市の生涯学習の拠点として、関係機関の協力を得て、障害のあるなしの垣根を越えて広く一般市民の方に楽しんでいただくために上映。入場無料。年1回。
文化庁移転関連事業	文化庁移転を踏まえ、京都の生涯学習の拠点としてだけでなく、「文化首都・京都」にふさわしい文化振興の拠点として、より質の高い生涯学習事業に取り組み、京都ならではの奥深い学びを発信。
その他	① アスニージュニアアトリエやましな ② 16ミリ映写技術講習会

#### 【生涯学習事業の参加者数】

区分	28年度	29年度	増△減
京都アスニー (うち平安京創生館入館者数)	166,970人 (86,731人)	172,723人 (92,563人)	5,753人 (5,832人)
アスニー山科	26,102人	26,347人	245人
計 (うち平安京創生館入館者数)	193,072人 (86,731人)	199,070人 (92,563人)	5,998人 (5,832人)

### (3) 貸館事業(京都市からの委託を受けて実施)

生涯学習に係る自主的な学習活動のための場を提供。教室形式の研修室や和室、大小の会議室、サークル活動室、ホールなど様々な用途に利用いただける施設を備えている。

とりわけサークル活動室については、防音機能を有し、二足制の部屋であることから常に人気があり、音楽活動や体操・ヨガ等、多様な活用がなされている。

また、平成28年4月施行の障害者差別解消法を契機に導入したヒアリンググループ(補聴器等を利用される方の“聞こえ”を支援する設備)は、貸館利用の際、希望者に貸出を行っている。

#### <自習室の設置>

平成27年度後期から試行的に開設を始めた自習室については、利用者からの要望が多いため、平成28年度から引き続き、貸館事業において空室が発生した際の設置を通年実施している。

#### (4) 情報発信

項目	説明
生涯学習情報コーナー (アスニー山科でも実施)	生涯学習の拠点施設として、市民のニーズに応じて幅広く学習いただけるよう、館内に「生涯学習情報コーナー」を設け、京都市及び京都市近郊で行われる講座・講演会、展覧会、演奏会などのイベント情報や施設案内等の情報（ちらし・パンフレット等）を配架。 ホームページ（HP）では、京都市の関係機関や大学・短期大学、博物館・美術館等の文化施設、民間カルチャーセンター等のHPともリンクし、生涯学習に関する様々な情報を紹介。
生涯学習講座のご案内 「まなびすと」の発行	京都アスニー及びアスニー山科で実施する講座・講演会、実技教室、コーラス・イベントの情報や、講演録・寄稿等による事業内容の紹介など、広く市民に情報発信するために発行。
貸館利用団体 掲示板	京都アスニーで活動されている方（団体・個人）を対象に、京都アスニーで実施するイベントの情報や、サークルの紹介・新規会員募集の告知など、ちらしの掲示と配架のできるコーナーを設置している。

#### (5) その他の事業の概要（収益事業）

項目	説明
駐車場の運営	京都アスニーの敷地の一部を京都市から賃借し、京都アスニーと中央図書館の来館者等にご利用いただける駐車場の運営を行う。 (料金：施設利用者は30分につき100円、上限1,000円(5時間以上))
その他	① 自動販売機による飲料水の販売 ② レンタルボックスの提供 ③ 市バス回数券等の販売等

### 3 図書館事業

#### (1) 京都市図書館の概要

項目	説明
館数	<p>18館</p> <p>当財団にて事業を受託している4つの中央図書館と14の地域図書館のほか、京都市直営のこどもみらい館子育て図書館・コミュニティプラザ深草図書館・移動図書館「こじか号」で、京<sup>みやこ</sup>ライブラリーネットを構築している。</p> <p>※ 移動図書館「こじか号」は、京都市直営により、既存の図書館を中心とした半径2km以内に入らない地域を巡回。(平成30年12月31日現在 巡回基地41箇所)</p>
開館日・開館時間等	<p>① 全館で、火曜日、年末年始(12/29～1/4)及び図書特別整理の期間を除くすべての日を開館</p> <p>② 全館で午前9時30分から開館(閉館時間は館、曜日により異なる)</p> <p>③ 4中央図書館での夏季土曜日の開館時間の延長</p> <p>※ 通常午後5時閉館のところを7月・8月は午後7時まで延長</p>
蔵書冊数	193万冊
個人登録者数	43万7千人
入館者数	412万人(1日あたり13,840人)
貸出人数	239万人(1日あたり7,896人)
貸出冊数	741万冊(1日あたり24,919冊)

(※平成29年度の利用状況による)

#### (2) 図書館事業の概要

京都市図書館では、「はばたけ未来へ！京プラン(京都市基本計画)」を踏まえ、図書館が市民の学びを支える最も身近な生涯学習施設として積極的に活用されるよう、利便性の向上に努める。

また、「第4次京都市子ども読書活動推進計画」に基づく子どもの読書活動を推進する取組に重点をおくとともに、あらゆる市民を対象とした読書活動推進事業及び図書館を活用した生涯学習推進事業に取り組む。

## 〈1〉 一層身近な図書館となるよう利便性の向上に努める取組

市民に最も身近な学びの拠点として、図書館を一層活用してもらえるよう、図書館の利便性の向上を図る

◎は全館で取組む事業

### ① 利便性向上に関する取組

- ◎ ア 図書館利用者サービス
  - イ 図書館の開館時間の見直し
- ◎ ウ 京ライブラリーネット
  - ・他館資料予約・取寄せ・返却サービス（ブックメール事業）
  - ・インターネットサービス
- エ 図書館返却ポストの地下鉄駅等への設置
- オ 自動貸出機の設置
- ◎ カ 郵送等によるサービスの実施
- ◎ キ だれにでもやさしい開かれた図書館としての取組
  - ・障害者に対するサービス
    - ※ 在宅貸出制度，特別貸出制度，音の文庫事業（京都ライトハウスとの連携事業），視聴覚障害情報総合ネットワーク（サピエ）への加入，録音資料貸出制度，大型活字本・点字図書，対面朗読等
  - ・高齢者に対するサービス
  - ・乳幼児連れ保護者に対するサービス
  - ・外国人利用者に対するサービス
  - ・その他
- ◎ ク 他の図書館との連携
  - ・府立図書館及び府内図書館（K-Libnet，返却資料お預かりサービス等）
  - ・大学図書館（K-Libnet，京都市立芸術大学との相互貸借等）
  - ・国会図書館
  - ・市会図書情報室
  - ・その他の図書館（他自治体の公共図書館，図書室機能を備えた施設等）
- ◎ ケ 隣接自治体との相互利用（宇治市，大津市の公立図書館との相互利用を実施）



## ② 広報サービスとリサイクルサービス

### ア 広報サービス

- ・広報誌「京図ものがたり」の発行
- ・図書館利用案内及び「いつだって図書館」の発行

◎京都市図書館ホームページによる広報

◎報道機関に対するプレスリリースの発行

◎各図書館による各種広報活動の実施

### ◎ イ リサイクルサービス

- ・ブックリサイクル（不要図書の無償譲渡）
- ・雑誌付録の活用

## ③ 図書館の環境整備

- ・コミュニティプラザ深草図書館データ統合（平成31年4月更新）

### 〈2〉 読書活動の推進に向けた図書館を活用した生涯学習推進事業

「豊かな人生は学びとともにある」という観点から、図書館を活用して、子ども・若者・高齢者まであらゆる世代の市民だれもが学ぶ喜びを実感し、みずからを磨き高めることをサポートする

## ① 子どもの読書活動推進のための取組（「京都市子ども読書活動推進計画」に基づいて）

### ア 啓発事業

- ・ブックリスト「本のもり」の改訂（平成30～31年度：「幼児編」「小学校低学年編」）

◎ブックリスト「本のもり」の配布と掲載図書の展示（赤ちゃん編～中学校編）

**新規**

- ・3歳児健康診査における「本のもり 幼児編」の全員配布
- ・子どもを対象とした資料のテーマ展示

### ◎ イ 特別事業

- ・「子ども読書の日」記念事業（4/1～4/30）

※ 「0歳からの絵本コンサート」（京都堀川音楽高校との連携事業），  
子どもの本のブックリサイクル，おたのしみ会等

- ・「読書週間」記念事業（10/27～11/9）

※京都市子ども文庫連絡協議会との合同講演会，ビブリオバトル異世代交流，  
読書絵はがき展等

- ・クールスポット事業（7/1～9/30）

## ウ 乳幼児に対する取組

- ・乳幼児保護者用読書ノートの改訂と配布
- ◎京都版ブックスタート事業への協力（コーナーの設置と指定図書の展示等）
- ◎乳幼児対象の定例行事・特別行事

## ◎ エ 小学生に対する取組

- ・お楽しみ会等の定例行事・特別行事

## **新規** オ 中学生・高校生に対する取組

- ◎中学生・高校生の利用者増に向けた取組（登録者数の増加等）
- ◎ティーンズコーナーの設置
- ◎中高生おすすめ本の展示
- ◎ティーンズ向け広報誌の発行
- ・「高校生読書活動推進図書館」の指定
- ・ティーンズ対象事業の実施（ビブリオバトル等）

## カ 学校等との連携

- ◎保育所・幼稚園・小学校・中学校・高等学校・総合支援学校との連携
- ◎学校団体貸出
- ◎「めざせ100冊！読書マラソン」への協力
- ・「調べ学習のための推薦図書」リストの作成
- ◎夏休み課題図書の展示と貸出
- ◎図書館見学受入
- ◎「生き方探究・チャレンジ体験」受入
- ・総合支援学校生徒の「職場実習」受入
- ・学校への出前事業
- ◎出前専用軽ワゴン車「青い鳥号」を活用した学校訪問（ブックトーク・お話し会等）
- ・中高生への読み聞かせ講座
- ・教育委員会が実施する教職員等研修への講師派遣

## キ 図書館司書研修の充実

## **新規** ・子どもの本コンシェルジュ養成講座

## ク 地域団体・ボランティアとの連携

- ・子ども読書活動推進のための懇談会
- ・読み聞かせボランティアの協力
- ・講演会等の実施
- ◎読み聞かせ講座の実施

## ケ 館外に出向いての取組

- ・青い鳥号による出前サービス
  - ※ 保育フェスタ, PTA フェスティバル, 植物園フェスタ・マルシェ等
- ・地藏盆等地域へへの出前読み聞かせ

## ② あらゆる利用者を対象とした読書活動推進事業及び図書館を活用した生涯学習推進事業

### ア 特別事業

- ・「読書週間」記念事業 (10/27～11/9)
- ・クールスポット事業 (7/1～9/30)

### ◎ イ 単年度事業

- 新規** ・天皇陛下御即位に係る慶祝事業への協力

### ウ 図書館展示

#### ◎ 図書・資料の特設展示

- ＊「憲法月間」「環境月間」「平和関連」「古典の日」「人権月間」
- ・他機関との連携による展示
  - ＊「きょう・いのち・ほっとブック事業」「お酒を読もう」「男女共同参画」「認知症啓発」等

### エ 通年を通じた取組

- ・文化庁移転を踏まえた文化芸術事業
  - ＊講演会・映画会・朗読会等の実施, 芸術作品の展示等
- ・司書の専門性を生かした取組
  - ◎「司書のイチオシ！」等
  - ◎レファレンスサービスの普及
    - ・フロアワーク

### オ 地域の特色に応じた取組

- ・まち歩き・歴史ウォーク等
- ・地域に関する講演会等

### カ 他団体と連携した取組

- ・大学・学校・公的機関との連携
- ・MLA 連携 (博物館・美術館・図書館・文書館)
  - ＊植物園, 動物園, 水族館等を含む
- ・病院, 高齢者施設, 社会福祉団体等との連携
- ・NPO, ボランティア団体等との連携
- ・民間との連携

キ 館外に出向いての取組

- ・ 市政出前トーク

ク 大人を対象とした施設見学

- ・ 書庫ツアー

ケ 図書館業務ボランティアとの連携

〈3〉 周年事業等

- ① 南図書館 40 周年, (こどもみらい館子育て図書館 20 周年)
- ② 指定都市図書館長会議準備 (平成 32 年度実施)